

景観に配慮した宮古市鉾ヶ崎地区の防災まちづくりに関する基礎研究

岩手大学 学生会員 ○スエズインコ
岩手大学 正会員 平井 寛
岩手大学 正会員 南 正昭

1. 研究の背景

平成 2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災の大津波により宮古市鉾ヶ崎地区の自然、まち並み、水産業と調和して築かれていた市街地の良好な景観の多くが一瞬にして破壊された。早期復興が求められる中、復興まちづくりは大規模な基盤整備を伴うものが多い。設計の時点から計画地のイメージが規定されていくことが予想される。津波防災を強化するまちづくりとともに海岸堤防を建設する計画も進められる。それと同時に復興後住民が快適に暮らすため初期段階から景観に配慮した工夫も必要とされる。地域住民にとってすこしでもよりよいまちづくりになるための提案も必要である。鉾ヶ崎は観光拠点である浄土ヶ浜と繋がっているため、地域活性化の観点からも魅力を高めていくことが望まれる。

2. 研究の目的

本研究では、鉾ヶ崎地区の写真を基礎データとした視点場の抽出と眺望の確保を目的としている。今後の復興まちづくりで自然の大きな改変を避けて地域に適切な散策路、公園などの配置を検討するとき手掛かりとなる資料の作成である。これにより、安全・安心で景観に配慮したよりよい防災まちづくりの基礎となると考えられる。

3. 鉾ヶ崎地区の景観特性

鉾ヶ崎地区はサンマ船の出魚で賑わった港町で昔から水産のまち「みやこ」を印象していた。リアス式海岸では、周囲を山で囲われた景観が特徴で、閉伊川の河川軸および港湾部が開かれた空間となる。宮古湾の北側には浄土ヶ浜など観光地があり、閉伊川河口北側の鉾ヶ崎地区では、観光拠点としての港町景観が形成されている。昔から残る寺、神社は周囲の小高い場所に立地していて、傾斜地や狭小な土地に住宅が密集している。現在の鉾ヶ崎地区の風景は写真(1,2)である。写真 1 は常安寺別院に向かう住宅街の小坂道で、写真 2 は日立浜町から撮影した鉾ヶ崎地区の風景である。



写真 1 宮古市鉾ヶ崎地区上町



写真 2 鉾ヶ崎地区（日立浜町から）

4. 研究方法

視点場の設定に関して調査資料「モデル地区④観光地周辺：鉾ヶ崎、閉伊川（宮古市）、平成 24 年 3 月」²⁾をもとにした。まず、地図から読み取れる内容で視点場抽出範囲を決定した。次に、現地に行って視点場となる地点を絞り込んだ。更に、地元の住民に鉾ヶ崎地区に関する聞き取りを行い、鉾ヶ崎地区内を回り現在の状況を写真（図 1）に収めた。

視点場ごとに写真を撮り、海や港への眺望、市街地などへの風景を整理した。眺望点（神社、寺院等）から山並み、海が見えるかを確認した。

キーワード：視点場、視対象、景観、眺望

連絡先：岩手大学工学部 岩手県盛岡市上田 4 丁目 3-5

TEL: 019-621-6454

FAX: 019-621-6454

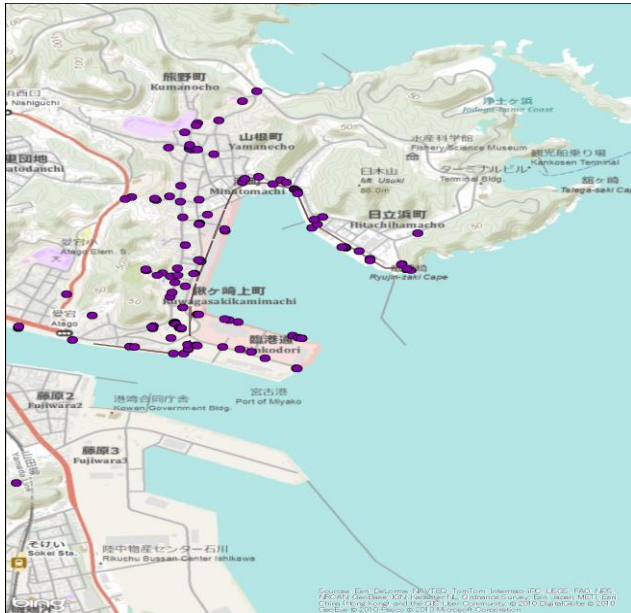


図1 鉾ヶ崎地区で撮影した場所を地図上に表示

津波による浸水域から居住地が後退することや大きな防潮堤が建設されることによって、海への眺望が減少する。更にこれからの復興まちづくりで新たな公共施設や建物を設ける場合の風景を配慮して表1の視点場を抽出した。

表1 視点場のリスト

No	種別	位置	視点場	視対象
1	埋立地	臨港通	臨港通	海、市街地、山
2	ビル	光岸地	宮古漁協ビル	海、市街地、山
3	寺院	鉾ヶ崎上町	常安寺別院	海、市街地、山
4	高台	鉾ヶ崎仲町	高台住宅前	海、市街地、山
5	神社	蛸の浜町	熊野神社	海、市街地、山
6	寺	蛸の浜町	心公院	市街地、山
7	橋	県道248号	浄土ヶ浜大橋	海、市街地、山
8	岬	日立浜町	竜神崎付近	鉾ヶ崎地区全体、海、山並み

6. 結果とまとめ

写真数十枚の中から主な視点場と視対象8個を表にリストアップ(図2)した。図2は港全体、山並み、海への眺望をGIS地図上に視点場の写真を対応させ、どの地点からどのような景観を観察可能かが分かるようにしたものである。市街地を見渡せる場所として熊野神社(写真3)と海への眺望場所として宮古漁協ビル(写真4)を表した。

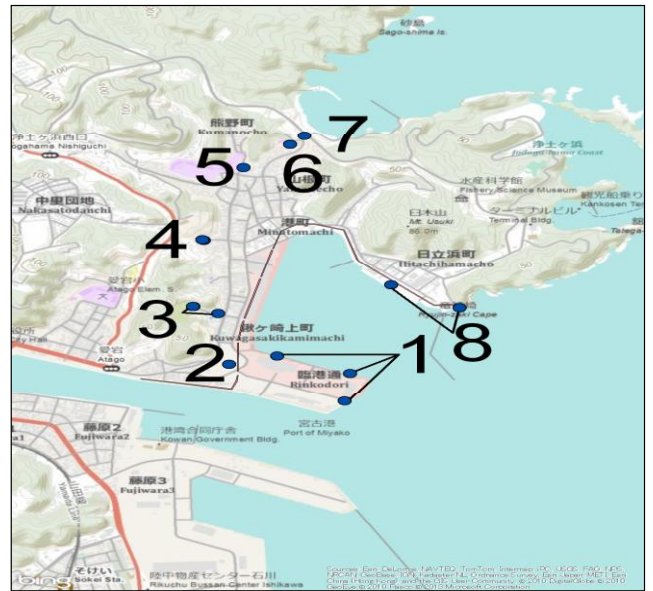


図2 鉾ヶ崎地区の主な視点場を地図上に表示

今後、鉾ヶ崎地区は防災まちづくりを進める上で、本資料を一助として、地域住民の視点による考察・検討が重ねられ、防潮堤の圧迫感を減少させる工夫と公園や散策路など取り入れる工夫を期待する。



写真3 視点場：熊野神社(蛸の浜町)



写真4 視点場：宮古漁協ビル(光岸地)

「参考文献」

- 1)岩手県 県土整備部 都市計画課：ふるさと景観再生の手引き「岩手県沿岸地域復興に向けた景観形成の基本的考え方」、平成24年9月
- 2)岩手県 県土整備部 河川課：モデル地区④観光地周辺「鉾ヶ崎、閉伊川(宮古市)」、平成24年3月
- 3)国土交通省 都市局：「復興まちづくりにおける景観・都市空間形成の基本的考え方」(中間とりまとめ)、平成24年1月